

山口県大学ML (Museum・Library) 連携事業報告

令和3年度 展示テーマ

『あゆむ』



# 山口県大学ML (Museum・Library) 連携事業報告 令和3年度 展示テーマ『あゆむ』

## 事業の経緯と経過

令和3年度は、参加館が共通テーマに沿って各大学や館の特色を活かした学術資料または研究成果の展示を開催するという現行体制により、引き続き特別展を開催した。前年度同様、新型コロナウイルス感染症による「コロナ禍」の中、開催を辞退せざるを得ないと判断された館があり、7大学10館（下記「事業の実施体制」参照）での開催となった。

今年度の事業説明会もメール通知の形をとり、事業内容については、

- ◎展示の共通テーマを『あゆむ』とする
  - ◎事業期間は10月から翌年1月までとし、各館1ヶ月以上展示を開催する
  - ◎新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年開催していたスタンプラリー等は実施しない
- などが決定された。

以降、各館の展示準備とともにポスター、チラシ、スタンプラリーカードなどを作成し、広報物の配付による事業の周知などを行った。

令和3年10月、予定通り『山口県大学ML連携特別展』は開幕した。ただし、会期中にも新型コロナウイルス感染拡大等の社会情勢に応じ、展示観覧者を学内者のみに制限する等の対応を行った館も多かった。会期中に計数された見学者数は約560名（図書館での開催は見学者を正確にカウントすることが困難）であった。昨年度と比較すると増加したが、これは山口県立大学で開催されたシンポジウムの影響が大きい。

次頁より、参加各館の展示内容の紹介と実施成果の報告を行う。

## 事業の実施体制

### ・主催

山口県大学ML連携事業実行委員会事務局

- 代表 田中俊二 (山口大学学術基盤部 次長)
- 事務担当 田村広明 (山口大学学術基盤部学術基盤推進課 副課長)
- 川上誠 (山口大学学術基盤部学術基盤推進課企画連携係)

### ・参加館

岩国短期大学附属図書館 宇部フロンティア大学附属図書館  
徳山大学図書館 梅光学院大学図書館 山口県立大学図書館  
山口大学総合図書館 山口大学医学部図書館  
山口大学工学部図書館 山口大学埋蔵文化財資料館

### ・共催

大学リーグやまぐち 山口県大学図書館協議会

### ・後援

山口県図書館協会 山口県博物館協会 大学博物館等協議会



展示広報用ポスター



山口県大学ML連携事業Web



## 岩国短期大学 附属図書館 『成長のあゆみは絵本とともに』

住 所：〒740-0032 山口県岩国市尾津町2丁目24-18  
電 話：0827-31-8141 (代)  
e-mail：library@iwakuni.ac.jp  
http://www.iwakuni.ac.jp/  
●開催期間：10月17日（水）～12月17日（金）  
※図書館の一般開放は行っておりません。

### 【展示内容】

絵本は、心の成長に欠かすことのできない大切な要素の一つであり、特に乳幼児の情操育成にとっては愛情あふれる存在でしょう。今回は、アメリカの絵本作家エリック・カール氏（1929～2021）の作品を特集しました。当館の絵本コーナーに常時展示している大型絵本『はらぺこあおむし』（偕成社）は、美しい色彩と親しみのある自然素材を主役にした彼の代表作です。

また、今年には本学創立50周年にもあたりますので、本学のあゆみに関する資料も併せてご覧いただきました。

### 【観覧者数】

約30名

### 【成果】

昨年度に引き続き、コロナ禍の影響が来場者数に影響したと考えています。本学では、展示開催期間内に毎年大学祭があり、大学祭当日に絵本の読み聞かせ会を館内で行っており、その流れで観覧者を呼び込められるため、今年は大学祭が学内のみの1日開催で一般公開されなかったことが、特に外部からの無観覧に影響しました。

一方で、絵本は本学の大きな財産であり、展示のテーマで取り上げた作家エリック・カールに関する作品展示と著書紹介を扱ったことで、授業の関連として閲覧され、学生にはより多くのエリック・カール作品を知る機会となり、また、本学関連資料を知る機会にもなりました。

### 【来年度山口県大学ML連携事業に向けて】

コロナ禍の影響がどのようになっていくのか不明な状況ですが、オープンキャンパスや、大学祭などのイベントにおいても、図書館では毎年ML連携特別展を開催していることを案内し、図書館内を見ていただく機会を作っていきたいと思えます。まずは開催できる状況にならなければ広報活動も難しいと思われるので、コロナ禍の収束を願うばかりです。



展示の様様



展示観覧風景



## 宇部フロンティア大学附属図書館 『学生とともにあゆむ』

住 所：〒755-0805 宇部市文京台2-1-1  
電 話：0836-38-0524  
e-mail：tosho@frontier-u.jp  
http://www.frontier-u.jp/intro-univ/a-institution/a-library/  
●開催期間：10月1日（金）～11月30日（火）

### 【展示内容】

本学では、学生の意見を積極的に取り入れるため、「Li - Fro」というサークルの協力を得て図書館運営をしています。これまでに本の紹介展示コーナーの作成やブックハンティング、図書館情報を盛り込んだ広報新聞作りやイベントの企画・運営のほか、シンポジウムに出席して他大学の仲間との交流もしました。今年度は新たなメンバーも加わり週に一回定例会を開いて他の学生たちに図書への関心を引き起こすためのイベントを企画しています。

### 【関連事業】

展示物を製作している様子を動画撮影し、オンライン大学祭にて、配信することで活動のアピールができました。

### 【成果】

図書館利用が学内者限定のため、閲覧者は学内者のみになりました。学生協働に参加している学生が展示物を制作したことが、学生間での刺激となり、ML連携特別展に新たに関心を持つ学生が増えました。制作風景の動画撮影をきっかけに、動画を利用した「ビブリオバトル」イベント開催にもつながりました。県内の博物館や大学図書館のコレクション・特色などに関心が向く機会となりました。

### 【来年度山口県大学ML連携事業に向けて】

書籍の紹介展示が続き、展示方法や展示内容がマンネリ化してきました。学内の他部署と連携を図りながら、テーマにそった展示の工夫をしたいと思えます。



展示の様様



展示物作成の様子



## 至誠館大学 附属図書館 『絵本とあゆむ』

住 所：〒758-8585 山口県萩市椿東浦田 5000

電 話：0838-24-4081

e-mail：library@shiseikan.ac.jp

http://www.shiseikan.ac.jp/library/

●開催期間：11月3日（水）～1月13日（木）

### 【展示内容】

平成22年より、児童文化サークル「ピーカーボー」の学生と附属図書館の共同開催で、絵本をテーマとしたワークショップイベント『絵本の世界を体験しよう』を開催し、様々な活動を展開しています。

絵本を通じて親子の共通体験の機会を提供し、同時に保育者を目指す学生には子どもと接する経験を通して将来を見据えた活動の機会となっています。

本展示では、これまでの12年（28回）となる活動の様子や活動で制作したものを展示し、子どもや学生が絵本とあゆむ姿を紹介します。

### 【観覧者数】

21名（記帳者）

### 【成果】

学生サークルと附属図書館が、子育て支援の一助となるよう地域に向けて行っているイベント（12年間28回分）の、ポスター、写真（活動の様子）、製作物等を展示しました。学内の教職員、学生にも、学生サークルがどんな活動をしているのかを知ってもらう良い機会となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、会期中に学外者の入館が禁止となりました。地域に向けて行っているイベントをまとめた内容だったため、地域の方たちに見てもらう機会が減ってしまったのは残念でした。

地元メディア（ケーブルテレビ、地域誌）の取材を受けたのは、情報発信に役立ちました。

### 【来年度山口県大学ML連携事業に向けて】

次年度も教員と連携し、展示に参加していきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症の影響は次年度も続くと思われるため、県内から広く観覧者を募るのは難しいかと思えます。せめて、所在地である萩市の方たちには来館していただき、大学を知ってもらう機会となる展示ができればと思います。



展示の様様



展示観覧風景



## 徳山大学 図書館

### 『地域ともにあゆむ 徳山大学50年のあゆみ』

住 所：〒745-8566 山口県周南市学園台

電 話：0834-28-5394

e-mail：toshokan@tokuyama-u.ac.jp

http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/facility/library/

●開催期間：10月29日（金）～12月24日（金）

### 【展示内容】

今年度は徳山大学50周年に当たります。地域とともに歩んできた大学の足跡を辿るべく、本学に関わる様々な資料や書籍等を展示いたしました。徳山大学のあゆみを展示資料とともに体感していただけたものと思います。

### 【観覧者数】

42名

### 【関連事業】

10月30日（土） 徳山大学創立50周年式典・記念講演会  
徳山大学大学祭（ポプラ祭）

ブックリサイクル

10月31日（日） しゅうなんスポーツフェスタ in 徳山大学



展示の様様

### 【成果】

今年度は開催期間中に『徳山大学創立50周年式典・記念講演会』が、コロナ禍である状況を鑑み、招待制で執り行われました。観覧者の半数は式典当日ではあり、1日における人数としては満足のいく成果でした。徳山大学としても最後になるML連携特別展において、多数の方々に徳山大学の50年の歴史に触れていただける機会を設けられたことが成果です。

### 【来年度山口県大学ML連携事業に向けて】

来年度、本学は「公立大学法人 周南公立大学」に生まれ変わります。ML連携特別展の参加も継続をしていく方向です。コロナの状況にもよりますが、企画を興味あるものとし周知を徹底することで、観覧数の増加を見込みたいです。



主要展示品



## 梅光学院大学 図書館

『あゆみ続ける「しかけ絵本」とともに』

住 所：〒750-8511 山口県下関市向洋町 1-1-1

電 話：083-227-1040

e-mail：library@baiko.ac.jp

http://www.baiko.ac.jp/university/library/

●開催期間：12月1日（水）～1月31日（月）

### 【展示内容】

新たなあゆみ続ける「しかけ絵本」。その中でも先進的な現代作家の作品を展示しました。学生たちは観覧するだけでなく、絵本を「広げる」「引っ張る」「のぞき込む」ことで、驚きや発見があったことでしょう。さらに下関在住の造形作家・川原一夫さんによるワークショップで「しかけ絵本」を作ってみました。

この度の展示は、〈ギャラリー夢ロード〉（下関市豊北町滝部）のご協力のもと開催することが可能になりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本学では学生・教職員のみを対象とし、地域の皆様は〈ギャラリー夢ロード〉で、ご観覧いただきました。

### 【関連事業】

下関市在住の造形作家の指導により、しかけ絵本を作るワークショップを行いました。

参加人数：14人

### 【成果】

観るだけで心が弾むようなしかけ絵本を、楽しむことができました。

ワークショップでは、参加者14人が工夫をこらしてオリジナルの作品を作りました。幼稚園保育園の教師を目指す学生たちの役に立つことと思います。

地域のギャラリーである〈ギャラリー夢ロード〉のご協力のもと、梅光学院大学での展示ができましたことを、心より感謝いたします。

### 【来年度山口県大学ML連携事業に向けて】

コロナ禍にあつて2年間、学内のみの展示となりました。

次年度こそ、地域の皆さまに観ていただき喜んでもらえればと思います。



展示の様様



ワークショップ



## 山口県立大学 図書館

『寺内正毅と桜圃寺内文庫  
設立 100 周年を迎えて』

住 所：〒753-8502 山口県山口市桜島 3-2-1

電 話：083-928-0522

e-mail：lib@sakura3.yamaguchi-pu.ac.jp

https://www.ypu.jp/li/

●開催期間：11月1日（月）～12月23日（木）

### 【展示内容】

2022年2月に設立100周年を迎える「寺内文庫」の、これまでの「あゆみ」をテーマとしました。文庫設立までの寺内晩年の活動を示す史料や、文庫に納められるまでの具体的な経緯が判明する典籍、あるいは、かつて本館の脇に建っていた「朝鮮館」の関連資料などをとりあげました。従来は不明な点も少なくなかった寺内文庫の設立や活動実態について、最新の研究成果に基づいた展示を行いました。

### 【観覧者数】

約300名

### 【関連事業】

「桜圃寺内文庫開庫100周年記念シンポジウム：桜圃寺内文庫と山口県立大学」

日時：2021年11月3日（水）13：00～15：00

会場：山口県立大学2号館B401

### 【成果】

ML連携展期間中にイベントを開催したため、例年より観覧者数が増加しました。

### 【来年度山口県大学ML連携事業に向けて】

今年度はコロナ禍のため、入館者の制限をかけたため、広く一般の方に公開することができませんでした。来年度は、状況にもよりますが、広く一般の方にも公開したいです。



展示の様様



展示の様様



## 山口大学 総合図書館 『山口大学図書館のあゆみ』

住 所：〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1

電 話：083-933-5183

e-mail：toshokan@yamaguchi-u.ac.jp

http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/

●開催期間：11月5日（金）～1月31日（月）

### 【展示内容】

山口大学図書館は、昭和24年の開学とともに設置され、昭和45年、大学の統合移転に伴い点在していた各分館を統合し、現在の位置に建物を新築しました。その後も前身校の資料を保管・継承しながら、最先端の教育・研究に必要なとされる資料や設備を整え、現在に至ります。

平成26年に改修工事を終えた総合図書館に続き、医学部、工学部図書館もこのほど改修工事を完了しました。3館ともに今後より一層機能を充実させていくにあたり、節目として本展示では、前身校の貴重な資料を紹介しながら、これまでの図書館の歩みを振り返りました。

### 【成果】

現在の本学図書館の機能やサービスにつながるこれまでの歩みや時代背景を紹介し、利用者に愛着や親しみを持ってもらう機会となりました。アンケートによると、本学学生だけでなく、普段利用される学外利用者の方にとっても身近なテーマとして関心を持って観覧された様子でした。

### 【来年度山口県大学ML連携事業に向けて】

今回は取り扱う時代が新しく、例年より写真を多く使用したこともあり、内容が分かりやすかったという声が見受けられました。また、学内者から大学への思い入れを持てる内容で良かったとの意見もあったので、次年度以降のテーマ設定やパネル作成に活かしたいです。



展示の様様



展示の様様



## 山口大学 医学部図書館 『医学部図書館のあゆみ』

住 所：〒755-8505 宇部市南小串 1-1-1

電 話：0836-22-2142

e-mail：medlibsa@yamaguchi-u.ac.jp

http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/

●開催期間：11月5日（金）～1月31日（月）

### 【展示内容】

令和3年7月に、医学部図書館は内装改修を経て、リニューアルオープンを迎えました。今回の展示では、昭和24年4月に設置された図書館から現在の医学部図書館に至るまでの軌跡をたどりながら、医学部図書館の歴史を紹介しました。山口県立医科大学図書館時代の看板などの展示物と、新しくなった図書館を合わせてご覧いただきました。

### 【成果】

展示では、過去からの医学部図書館の歴史や今回の改修に伴う図書館内部の変遷をパネルで紹介することができました。また、図書館で保存している過去の看板や航空写真等も展示したところ、時折、先生方が懐かしそうに眺めておられました。

### 【来年度山口県大学ML連携事業に向けて】

新型コロナウイルス感染防止対策に伴い、学内者のみの入館制限となっていたため、一般市民等の学外者には閲覧してもらうことができませんでした。そのような場合での別の公開方法も検討していく必要を感じました。

例：Webでのパネル公開、協定館（宇部市立図書館）でのパネル掲示等



展示の様様



展示品の一部



## 山口大学 工学部図書館 『工学部図書館のあゆみ』

住 所：〒755-8611 宇部市常盤台 2-16-1

電 話：0836-85-9051

e-mail：infoserv@yamaguchi-u.ac.jp

http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/

●開催期間：11月5日（金）～1月31日（月）

### 【展示内容】

令和3年7月、工学部図書館は全面改修を経て、リニューアルオープンを迎えました。今回の展示では、昭和14年宇部市鶴之島小学校の一隅に設けられた図書室から現在の工学部図書館に至るまでの軌跡をたどりながら、工学部図書館の歴史を紹介しました。工学部50周年を記念して作成された能面などの歴史的な展示物と、ガラス張りで開放感あふれる新しい図書館を合わせてお楽しみいただきました。

### 【成果】

改修に関連する展示をすることで、これまでの工学部図書館の歴史と、新しい図書館の紹介をすることができました。長年努めていらっしゃる先生方が、昔の工学部図書館やキャンパスの写真等を見て、興味深そうにしていたところがよかったです。

### 【来年度山口県大学ML連携事業に向けて】

新型コロナウイルスの影響で来館ができない人に対して、もう少しWEBでの公開を充実しておいたらよかったですと思います。



展示の様様



展示品の一部



## 山口大学 埋蔵文化財資料館 『新制山口大学 遺跡調査のあゆみ 50'～60'』

住 所：〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1

電 話：083-933-5035

e-mail：yuam@yamaguchi-u.ac.jp

http://yuam.oai.yamaguchi-u.ac.jp/Shiryokan.home/

●開催期間：11月1日（月）～1月31日（月）

### 【展示内容】

埋蔵文化財資料館は、本学の開発に伴い構内遺跡の発掘調査を実施していますが、構内遺跡から出土した遺物以外にも、山口県内の主要遺跡から出土した考古資料を多数収蔵しています。これらの資料の多くは、当館の設立以前、昭和24年（1949）の新制大学発足から昭和40年代にかけて、本学の教員であった小野忠熙氏（故人）と学生たちが調査に携わった遺跡から出土したものです。

今回の展示では、当館の収蔵品から、新制山口大学の遺跡調査のあゆみとともに、考古地理学者としての小野氏のあゆみを振り返りました。

### 【観覧者数】

171名

### 【成果】

計画当初は新制山口大学創立から当館設立までを展示の対象期間としていましたが、本学教員及び学生が携わった遺跡調査の数が思いのほか多いことが判明したため、対象期間を1950年代から1960年代までとしました。本学では考古学専門の研究室が設けられる以前の時期となりますが、調査年表や実際に出土した考古資料、当時の調査風景写真を公開することにより、小野忠熙教員が先頭となり、文化会サークルなどに所属する学生が山口県内を所狭しと飛び回り、調査を行っていた情景の一端を描くことができました。

### 【来年度山口県大学ML連携事業に向けて】

新型コロナウイルスの影響により、学外者の見学を断らざるを得ない期間が生じました。また、入館時の見学票記入を義務づけたため、展示室入り口で引き返す学生が多発しました。当面は同様の状況が続くと思われるが、辛抱するしかないと思います。

今回の展示内容から、文化会考古学部との関係が構築できました。来年度以降、文化会考古学部が昭和39年（1964）に調査し、成果が公表されていない資料群を、なんとか学術公開しようと取り組み始めています。来年度の山口県大学ML連携事業での成果公開は難しいですが、しっかり取り組みたいと思います。



展示の様様



展示観覧風景

# MUSEE

# Ann



山口県大学ML (Museum・Library) 連携特別展  
令和3年度 共通展示テーマ『あゆむ』  
山口県大学ML連携事業Web  
<http://www.oai.yamaguchi-u.ac.jp/ml/>

【編集・発行】  
山口県大学ML連携事業  
実行委員会事務局  
〒753-8511 山口市吉田1677-1  
電話：083-933-5192  
e-mail: li322@yamaguchi-u.ac.jp

[主 催] 山口県大学ML連携事業実行委員会事務局  
[共 催] 大学リーグやまぐち 山口県大学図書館協議会  
[後 援] 山口県博物館協会 大学博物館等協議会  
山口県図書館協会